

立命館経済学 第十三卷総目次 (昭和三十九年度)

論 説

	号	頁
自然成長率にかんする覚え書……………	建 林 正 喜	一〇(一) — 一九(一九)
協同組合とマルクス主義……………	井 上 晴 丸	一〇(二〇) — 四四(四四)
——協同組合発展の歴史的弁証法——		
経済における国家の問題(二)……………	高 橋 良 三	一〇(二一) — 四四(四四)
発展戦略の再検討……………	浜 崎 正 規	一〇(二二) — 五〇(五〇) — 八二(八二)
——低開発国の発展拠点の問題——		
▲広義の経済学V否定論の系譜……………	芦 田 文 夫	一〇(二三) — 二〇(二〇)
——ブハーリン・宇野教授の所説をめぐって——		
広い意味での経済学について(承前)……………	木 原 正 雄	一一(二一) — 一五(一五)
——社会主義経済学の生成と発展——		
最近の資本蓄積と低賃金構造(上)……………	戸 木 田 嘉 久	一三(二七) — 二六(二四)
現代資本主義と利潤率傾向的低落の法則……………	手 島 正 毅	一三(二五) — 一九(二六)
——独占と技術革新——		
金融資本の検討(上)……………	小 牧 聖 徳	一四(二七) — 一四(三四)

地租改正反対一揆について……………後藤 靖 四…一五(三三)―一七(三七)

最近の資本蓄積と低賃金構造(下)……………戸木田嘉久 四…一六(三七四)―一八(三九四)

池田経済成長政策の矛盾……………武藤 守一 五…一(四三)―三(四六)

A・スミス J・S・ミルに
おける国家経費に関する理論の展開 I……………箕浦 格 良 五…一七(四七)―一五(四八)

——古典学派における財政思想(四)——
金融資本の検討(下)……………小 牧 聖 徳 五…一五(四八)―一六(四九)

——解放後の問題を中心にして——
韓国の工業化過程……………朴 守 鉉 五…一六(四九)―一九(五三)

不安定性原理について……………建 林 正 喜 六…一(五四)―三(五六)

「地域開発」論序説……………浜 崎 正 規 六…一三(五一)―一七(六五)

——いわゆる「社会開発」問題との関連で——

A・スミス J・S・ミルに
おける国家経費に関する理論の展開 II……………箕浦 格 良 六…一六(六六)―一五(六三)

——古典学派における財政思想(四)——

資 料

董輔弼「ことなる拡大再生産の途の下での

社会主義的再生産の比例関係について」……………松野 昭 二 三…一〇(三六)―二四(九〇)

——マルクス再生産表式の具体化についての再論——

マックス・ウェーバー	……	大	四……八九(三九五)——一〇八(四一四)
『東エルベ農業労働者の状態における発展諸傾向』(一)	吉	友	輝彦
マックス・ウェーバー	……	大	五……一〇〇(五三〇)——一七(五四七)
『東エルベ農業労働者の状態における発展諸傾向』(二)	吉	友	輝彦
管大同『中国における資本主義商工業の社会主義改造』……	武	藤	守一
——第八章「マルクス・レーニン主義の普遍的真理と中国革命の具体的実践との結合の勝利」——	六	六	六(六四四)——一九(六六七)

書 評

足立政男著『丹後機業史』……	堀	江	保	蔵	一・二……一五(一五三)——一五(一五九)	
杉原四郎著『マルクス経済学の形成』……	細	見	英	一・二……一六(一六〇)——一七(一七六)		
建林正喜著『外国貿易と産業循環』……	杉	本	昭	七	三……一五(二九)——一三(三〇六)	
浜崎正規著『近代経済学の方法と理論』……	岡	崎	不	二	男	四……一九(四二五)——二三(四二九)
有田正三著『社会統計学研究』……	関	弥	三	郎	四……一四(四三〇)——二四(四三〇)	
梯 明秀著『経済哲学原理』……	山	中	隆	次	六……一三(三六八)——一三(三七八)	